

# News Release

2019年7月12日  
株式会社日立製作所

## 日立の TCP 最適化ソフトウェアが、米国ベライゾン社の Verizon Virtual Network Services の提供メニューに採用

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)が提供する TCP\*1 最適化ソフトウェアが、このたび、米国最大手通信会社である Verizon Communications Inc. (CEO: Hans Vestberg/以下、ベライゾン社)の Verizon Business Group の Verizon Virtual Network Services(以下、VNS)における「WAN Optimization」に採用されました。VNS は、世界 150 以上の国や地域で利用可能な有線ネットワークと無線ネットワークを統合したグローバルネットワークのサービスです。

日立の TCP 最適化ソフトウェアは、ネットワークの回線帯域を有効に活用するものです。クライアント側で専用ソフトウェアのインストールや設定が不要なため、拡張が容易な上、さまざまなアプリケーションに適用することができます。

今回、VNS の提供メニューの一つである「WAN Optimization」への TCP 最適化ソフトウェアの採用により、暗号化されたデータや設計図面など大容量のデータをモバイル端末含めてさまざまなデバイスに高速に配信できるようになります。これにより、高度なセキュリティが要求されるグローバルビジネスの多様なニーズに対応した WAN 最適化サービスの提供が可能になります。

\*1 TCP(Transmission Control Protocol): インターネットにおいて標準的に利用されている通信プロトコル

近年、クラウドサービスやモバイル端末の普及が加速する中、WAN(Wide Area Network)を経由する大容量データの転送やアプリケーションの多様化が進んでおり、柔軟性と拡張性に優れた SD-WAN(Software Defined WAN) \*2 サービスの利用が拡大しています。一方、WAN で使用されている TCP 通信には、長距離回線やパケット廃棄\*3 が発生する回線において、データ転送性能が大幅に低下するという特徴があり、それを解決する手段として、WAN 最適化技術が発展してきました。しかし、これまでのキャッシュ方式\*4 による WAN 最適化ソリューションでは、クラウド側とクライアント側の両方に専用のアプライアンスやソフトウェアをインストールする必要があり、SD-WAN サービスのように迅速な提供ができないという課題がありました。

\*2 SD-WAN: ソフトウェア制御によって WAN(広域ネットワーク)を動的に管理・運用するもの

\*3 パケット廃棄: パケットとは、コンピュータ通信において、送信先のアドレスなどの制御情報を付加されたデータの小さなまとまりのこと。パケット廃棄とは、ネットワーク上でデータが消失し、パケットが宛先まで到達しない状態のこと。

\*4 一度送信したデータを中間の記憶装置に備え、再度送信する際にはその記憶装置に保存されたデータを参照することで、ネットワークに流れるデータ量を最小化しデータの転送時間を短縮する技術。

日立では、これらのニーズを受け WAN 最適化装置「日立 WAN アクセラレータ」を 2015 年よりソフトウェア化し、「TCP 最適化ソフトウェア」として、製造分野などさまざまなお客さまに提供してきました。本ソフトウェアは、通信距離やパケット廃棄による TCP のデータ転送性能の低下を抑え、ネットワークの回線帯域を有効に使用することを可能にします。また、クライアント側に専用ソフトウェアをインストールする必要がないため、クラウドサービスを提供するデータセンターの仮想サーバ上に本ソフトウェアを導入するだけで、必要な時に容易に WAN 最適化のサービスを提供することができます。さらに、従来のデータ差分だけを転送することでデータ転送速度を高速化させるキャッシュ方式では対応が難しかった暗号化されたデータにおいても、高度なセキュリティを確保しながら高速にデータ転

送が可能です。今回、ベライゾン社から、本ソフトウェアの特許取得済み技術が評価され、VNS への採用が決定しました。

日立は、今後、TCP 最適化ソフトウェアで培った技術・ノウハウを生かし、グローバル展開している建設機械や工場などの産業分野や、エネルギーや交通などの社会インフラ分野を中心に、幅広い分野において IoT やデジタル技術を活用したソリューションを支えるデータ収集基盤を提供していきます。

#### ■ベライゾン社 製品管理および開発担当副社長 Vickie Lonker 氏のコメント

当社は、日立グループと協業し、日立の TCP 最適化技術を採用した Virtual Network Services 「WAN Optimization」の新たなサービスとして提供開始できることを喜ばしく思います。日立の特許取得済みの TCP 最適化ソフトウェアは、各ネットワークエンドポイント上にソフトウェアをインストールすることなく、未使用の帯域幅を有効活用し、高速なデータ転送を実現します。さらに、キャッシュ方式ではないため、暗号化されたデータにおいても高速な転送が可能です。これらにより、VNS は、データ量が多い設計図面をモバイル端末含めてさまざまなデバイスに配信するなど、幅広い分野に適用可能で、多くの付加価値を提供します。

#### ■ベライゾン社について

ベライゾン社は、ニューヨークシティに本社を置き、2018 年には 1,309 億ドルの収益を上げました。米国で最も信頼性の高いワイヤレスネットワークと国内首位の全ファイバーネットワークを運営し、世界中の企業に統合ソリューションを提供しています。Yahoo、TechCrunch、HuffPost といったブランドを傘下に収める Verizon のメディアグループは、消費者が最新の情報や娯楽を得るためのサービスや、コミュニケーションや取引を行うためのサービスを提供すると同時に、広告会社やパートナーがつながるための新たな手段を生み出しています。Verizon の企業責任では、自社のビジネスと最も関連が深く、社会への影響が大きい、環境、社会、ガバナンスに関する問題に優先順位を置いています。

#### ■日立の TCP 最適化ソフトウェアに関するウェブサイト

[https://www.hitachi.co.jp/products/it/network/communimax/infra/wan\\_opt/wac.html](https://www.hitachi.co.jp/products/it/network/communimax/infra/wan_opt/wac.html)

#### ■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部 IoT・クラウドサービス事業部  
お問い合わせフォーム：<http://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---